

第四十五回帝國議會
衆議院

信託法案外四件

信託法案
信託附屬信託法中改正法律案
擔保附屬信託法中改正法律案
不動產登記法中改正法律案
非訟事件手續法中改正法律案

委員會會議錄(筆記) 第一回

清造君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

司法次官 山内確三郎君
司法省民事局長 池田寅二郎君
司法省參事官 三宅正太郎君
大藏省銀行局長 黒田 英雄君

委員會成立
本委員ハ大正十一年二月二十一日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通
リ選定セラレタリ

指田 義雄君 吉野小一郎君 高柳淳之助君
白井 博之君 小田切磐太郎君 大島實太郎君
河相 三郎君 海原 清平君 崎山 克治君
柿原政一郎君 野村治三郎君 山本清三郎君
武内 作平君 野田文一郎君 山邊 常重君
鈴木久次郎君 最上 直吉君 納富 陳平君
同月二十二日午前十時委員長理事五選ノ爲各委員參集ス其
ノ氏名左ノ如シ

指田 義雄君 吉野小一郎君 高柳淳之助君
白井 博之君 海原 清平君 崎山 克治君
山本清三郎君 野田文一郎君 山邊 常重君
納富 陳平君

年長者崎山克治君投票管理事務トナル
○崎山投票管理事務ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣
告ス

○海原委員ハ投票ヲ用キス指田義雄君ヲ委員長ニ推薦シ理
事ハ其ノ數ヲ三名トシ委員長ノ指名ニ一任スヘシトノ意見
ヲ提出ス

○崎山投票管理事務ハ海原君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ指田義
雄君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

〔指田義雄君委員長席ニ着ク〕
○指田委員長ハ白井博之君野田文一郎君納富陳平君ヲ理事
ニ指名シ散會ヲ宣告ス
于時午前十時十分

會議

大正十一年二月二十八日午前十時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 指田 義雄君
理事 白井 博之君 野田文一郎君
理事 納富 陳平君

吉野小一郎君 高柳淳之助君 小田切磐太郎君
大島實太郎君 河相 三郎君 中村 清造君
山本清三郎君 武内 作平君 山邊 常重君
最上 直吉君

同月二十五日委員崎山克治君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中村

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

信託法案

擔保附屬信託法中改正法律案
不動產登記法中改正法律案
非訟事件手續法中改正法律案

○指田委員長 ソレデハ信託法案外四件ノ委員會ヲ開會致シ
マス、信託法ニ付テハ詳細ナ説明書モ御配付ニナッテ居リマ
スガ、大體ノ説明ヲ政府委員カラ承ルコトニ致シマス

○山内政府委員 此信託法ヲ提出致シマシタ直接ノ關係
ハ、是ハ信託業法ガ基ニナルノデアリマス、信託業ノ發達ニ
伴ヒマシテ、其取締關係上信託法ノ必要ガ故ニ生ジタルノ
アリマス、然ルニ信託業法ヲ作ルト云ヘバ、必ズ信託トハ何
ゾト云フコトガ定ラナケレバ、其取締ノ目的ヲ達スルコト
ガ出來ナイ、信託業法ノ範圍ガ定ラナイ次第、是方直接ノ原
因デアリマス、併ナガラ司法省ニ於キマシテハ、信託法ナル
モノノ必要ヲ感ジマス、單リ業法關係ノミデナク、皆テ
擔保附屬信託法ノ起案ノ際ニモ、信託觀念ハ之ヲ全體ニ
付テ明ニ致シテ置カスト、非常ニ諸般ノ取締關係上困ルコ
トガ生ズル、例ヘバ御承知ノ通り、學會ナドノ財産ヲ保管シ
テ居ル者ガ、學會ガ法人デハアリマセス、其學會ノ財産ヲ保
管スル者ガ、例ヘバ不動態ノ登記ヲスルト云フ場合ニ、其會
長名義ノ登記ヲシテ居ル、サウシテ其學會ガ無事デアアル間
ハ何事モ無イノデアリマスガ、時トスルト其人ガ死ス、サウ
スルト相續人ノ財産ニナル、其間ニ非常ニ困タ關係ヲ生ズ
ルノデアリマス、或ハ御寺ニ財產ヲ寄附スル時、寺ノ坊サ
ン名義デ登記ヲシテ居ルガ爲ニ、結局自己ニ財產ヲ移シテ
シマフ、信託財產ヲ移シテシマフガ爲ニ、喧嘩ガ起ルヤウ
ナコトモ度々アリマス、或ハ寄附金ヲ募ツテ或事業ヲスル
時ニ、信託關係ガ明ニナッテ居ラナイガ爲ニ、財產ガ或ハ
散逸スル、減損スルト云フヤウナコトデ、爭ヲ生ズル例モ
能クアル、而シテ實際ニ於テハ斯ウ云フ風ニ自分ノ財產

ニシテ——自分ノ財產ニ非ザルモノヲ、之ヲ自分名義デ
登記シテ置ク、金錢ヲ自分名義デ他ニ預金シテ置クト云
フヤウナ關係ハ、實際ニ行ハレテ居リマス、是ガ信託ナンド
アリマス、併ナガラ法規ニ何等律スルモノガナイガ爲ニ、
普通ノ所有物ト同ジニナッテ、遂ニ其權利關係ガ錯綜シテ
爭ヲ生ズルト云フコトニナッテ居ル、ソコデ此案ハ先ヅ信
託ノ觀念ヲ定メテ、其信託ハ第一條ニ定メテアルヤウニ、財
產權ハ移轉スルノデアル、財產權ハ移轉スルノデアルガ、其
移轉ヲシテ所有者トナッテ居ル者ハ、此財產ヲ管理スル處分
スルノハ、自分ノ利益ニ於テスルノデハナイ、即チ他人ノ利
益ノ爲メ、恰モ代理人デアアルカノヤウナ關係ニ於テ、其財產
ヲ管理處分スルノデアリマス、併セテ言ヘバ、財產ノ處理ヲ
持ッテ居ル者ハ財產ノ所有者デアアルケレドモ、其財產ノ管理
處分ニ付テ、他人ニ對シテ或義務ヲ負フト云フコトニナル
ノデアリマス、即チ信託ト云フ組合ハ、此義務ノ觀念ニ於テ
定ムベキモノデアアル、外國ニ於テ信託ニ付テ所有權ガ二ツ
ニナル、二重所有權ト云フ説ヲ採ッテ居リマスガ、近來其説
ハ廢テ居ルノミナラズ、日本ノ法律ノ觀念カラシテ、二ツ
ノ所有權ヲ認メルコトハ宜クナイ、義務ノ附イタ所有權デ
アル、平たく言ヘバ負擔附屬ノヤウナモノデアリマス、唯
義務ガ單純ナル内部義務デアアルト云フコトニナツタ、是ハ何
等ノ效能ガ無イノデアリマス、負擔附屬ヲ受ケタト全ク
違ハナイノデアリマス、此義務ニ違反シテ、即チ其財產ノ
處分ヲスルト云フコトニナルト、信託ニ依ッテ利益ヲ受ケ
ル者ハ、其不當ノ條件ヲ取消スコトガ出來ル、或ハ信託ノ
登記ヲスレバ、其義務關係ト云フモノハ第三者ニ向ッテ效力
ヲ生ズルモノデアアル、即チ受託者——信託ヲ受ケタル者ガ
自己ノ利益ニ依ッテ、其他信託ノ目的ニ反シテ、言換ヘレバ
信託ノ義務ニ違反シテ財產ノ處理ヲスルト云フコトニナレ
バ、其處理ニ依ッテ生ジタル後ノ法律關係ハ、第三者ニ對抗ガ
出來ナイト云フノガ信託ノ本義ニナルノデアリマス、即チ
財產ノ所有權ハ其所有者ハ義務ヲ負フ、其義務ハ内部ノ義
務ニ非ズシテ、外部ニ對シテモ效力ヲ生ズルコトハ、不動產
ノ登記セラレタル賃貸借、是ハ第三者ニ對抗サレルト同ジ
意味ノ一ツノ關係ヲ持ッテ居ルト云フコトニ立脚シテ、信託
法ヲ定メタルデアリマス、ソレ迄ニシナケレバ信託法ヲ定
メタル趣旨ハ何等ノ效能ガ無イカラ、主トシテ英吉利ノ例ヲ
採ッテ定メルニ至ッタ次第デアリマス、サウシテ此法案ハ澤

山條文ガアリマスガ、此觀念カラ基イテ總テ出來テ居ル、故ニ信託ノ事ハ登記登録ノ出來ル財產デアリナラバ、登記登録ヲシテ第三者ニ信託上ノ關係ヲ公示スル、例ヘバ株券ノ如キハ株主名簿、社債ノ如キハ社債原簿ニ矢張記載シテ、第三者ニ公示スルト云フヤウナ趣旨ヲ探テ居リマス、而シテ受託者ハ其義務ニ反スルコトハ出來ナイノデアリマス、斯ウ云フ觀念ニ基イテ總テノ事ガ出來テ居ルノデアリマスガ、此處ニ一ツ中上ケテ置キタイノハ、例ヘバ貧民救助カノ爲ニ財產ヲ信託スル、其他公益ノ爲ニ信託スル、公益ノ事ハ是ハ特ニ取締規定ヲ置イテ、此案ノ終リノ方ニ掲ゲテ居ルノデアリマス、其種ノ受益者、即チ信託ノ利益ヲ受ケル者ハ、是ハ貧民デアリマス、其貧民ト云フモノハ、誰ニ與ヘルト云フノデナクテ、不特定ノモノニシテ置ク、サウ云フ不特定ノモノノ爲ニハ、權利ヲ負フニツノ代表者ガナクテハナラズト云フ關係カラ、信託管理人ト云フ制度ヲ設ケテ居ル、其信託管理人ナルモノハ、不特定受益者ノ爲ニ更ニ自己ノ名デ權利ヲ行フ、義務ヲ行フ、サウ云フ特別ナ事ヲ一ツ置キマシテ、其他ハ大體第一ノ觀念ニ於テ中上ケテ趣旨カラ流レテ來タ規定デアル、ソレト信託義務ノ詳細ニ亙ッテ、信託義務者ハ注意ヲ以テ仕事ヲシナケレバナラス、自分ノ財產ト混合シテハナラズト云フヤウナ、諸般ノ事ガ規定シテアリマスガ、是ハ各條ニ付テ申上ゲタ方ガ、却テ複雑ナラズシテ宜カラウト思ヒマス、其義務違反ニ付テモ、諸般ノ法律上ノ效果ニ付テモ規定ガアル、ソレカラ信託關係ハ餘程複雑デアリマスカラ、又時トシテハ此信託義務ニ違反ノ結果ハ、餘程重大ナル損害ヲ受託者ノ爲ニ、何モ知ラザル受託者ノ爲ニ生ズル關係ガアリマスカラ、此監督ハ餘程嚴重ニシナケレバナラス、嚴重ト云フ語弊ガアリマスガ、餘程鄭重ニ監督ノ途ヲ定メナケレバナラス、其監督ノ最モ重大ナルノハ、即チ業法ニ規定スル所デアリマス、即チ營業信託業ヲ爲ス者ノ取締ハ、是ハ大藏大臣ニ於テ取ルコトニナルノデアリマス、營業ニ非ズシテ個人信託ノ場合ニ付テハ、是ハ差當リ裁判所ニ於テ監督スル、裁判所ガ即チ非訟事件トシテ信託事務ノ監督ヲスル、此監督スルノニ從前ノ非訟事件ノ監督、例ヘバ財產監督、恰モ清算人ヲ選ブト云フヤウナ簡單ナ事デ監督ノ事ハ法律ノ規定ノ中ニハ殆ド無イヤウニナッテ居リマス、是ハ行クハ改メテ行カナケレバナラスト思ヒマスガ、是ハ別トシテ、差當リ信託ノ監督ニ付テハ特ニ詳細ナル規定ヲ設クル必要ガアル、而シテ是非訟事件手續法中其趣旨ニ於テ或ル改正ヲ企テ次第デアリマス、ソコデ信託ノ觀念ナリ、信託ノ監督ノ事ナリ備ハリマシテ、而シテ此案ハ信託終了ノ事ヲ規定シテアル所ノ信託終了ノ關係モ、特定ノ場合ヲ考ヘマシテ、信託財產、信託ト云フ事ハ、受

託者ノ一身ノ信用ニ依ッテ生スルノデアリマス、即チ受託者ノ信用如何ト云フコトガ、其信託關係ノ起ル所以デアリマス、其意味ニ於テ財產ヲ受託者ニ移轉スルノデアル、其人ガ死ンダ後ニ其財產ト云フモノガ相續人ニ移ルト云フコトハ、是ハ信託ノ本意ニ反スル、只財產ヲ預ケテ、其財產ヲ管理シテ貰フト云フヤウナ意味カラ出來テ居ル一ツノ法律關係デアリマスカラ、所有權ガ本體ノ信託關係デナイ、其者ガ死ンダ後ニハ相續人ニ信託スルコト云フ如ク、其者ガ死ネバ、受託者ガ死ネバ、之ニ依ッテ受託信託關係ハ終了スルヤウナ意味デ、法人ガ解散スレバ信託關係モ終了スル、其他受託者ノ信用等ノ關係カラ、受託者ノ解任ヲスルヤウナ關係ニ於テモ、是モ終了スルノデアリマス、此信託關係ノ終了モ幾多ノ原因ガアリマスケレドモ、矢張本來信託ノ觀念カラシテ當然ノ事柄ヲ書イテ居ルノデアリマス、各條ニ付テハ細カニナッテ居リマスガ、大體ノ趣旨ハサウ云フ所ニアラノデ、一ツノ例ヲ擧ゲ御説明ヲ申上ゲマシタカラ、御了承アラシコトヲ願フノデアリマス、尙ホ色々アリマスケレドモ、是ハ御質問ニ應ジマシテ私ヨリ答辯ヲ致スコトニ依ッテ、説明ヲ補ヒタイト考テアリマス、信託法案ノ大體ノ説明ハ此程度ニ止メタイト思ヒマス

○指田委員長 如何デセウカ、質問ハ後ニ纏メテスルコトニシテ、信託業法ノ方ノ説明ヲ承ルコトニ致シタイト思ヒマス、ソレデハドウゾ信託業法ニ付テノ説明ヲ承リマス

○黒田政府委員 信託業法ニ付キマシテ、提案ヲ致シマシタ理由ヲ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、之ニ付キマシテハ既ニ本會議ニ於キマシテ、大藏次官ヨリ大體御説明ガアッタノデアリマス、ソレヨリハ稍、詳細ク申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、此信託業法ハ、只今司法次官ヨリ御話ニナリマシタ、信託ヲ營業ト致シテ居リマス者ニ關シテノ規定デアリマス、今日吾國ニ於キマシテ、此信託ヲ業トシテ居ル、所謂信託業者ト云フモノハ非常ニ多クナッテ參リマシテ、日露戰爭ノ後頃カラシテ、段々是等ノ業者ガ殖エテ參タノデアリマスガ、殊ニ大正七八年頃カラ致シマシテ、非常ナ數ヲ増シテ參タノデアリマス、昨年ノ末ニ於キマスル信託業者ノ數ハ、凡ソ五百十四ノ數ヘテ居ルノデアリマス、勿論今日信託業者ニ對シマシテハ、大藏省ハ監督權ヲ持ッテ居ラナイノデアリマス、大體ニ各種ノ方面カラシマシテ調査ヲ致シタノデアリマスガ、五百十四アリマシテ、其中會社組織ノモノガ四百八十七、其會社ノ公稱資本モ約三億四千七百ヲ算シテ居ルノデアリマス、段々最近ニ於キマシテモ、大ナル資本ヲ持ッテ居リマスル所ノ者ガ、漸次増加シテ居ルヤウナ狀況ニアラノデアリマス、此信託業者ト云フモノガ、

御承知ノ通り亞米利加ニ於キマシテハ、千八百二十二年ニ始メテ信託ヲ業トスル其會社ヲ設ケラレマシタ以來、非常ニ發達シタノデアリマシテ、今日千餘ノ信託會社ガアルト稱セラレテ居ルノデアリマス、是等ノ信託業ト云フモノハ、所謂此社會ノ靜止的ノ資金ヲ安全有利ニ管理運用致シマシテ、社會ニ活動サセルト云フ働ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、或ハ財產ヲ管理致シマスル上ニ於テ、十分ナル知識能力ヲ持ッテ居ラナイ者ノ爲ニ、代ッテ其財產ヲ管理運用スル、或ハ色ノ事業ニ携ハル、職務ヲ持ッテ居ル爲ニ、自ら自己ノ財產ヲ管理運用スルコトノ餘裕ノナイ者ノ爲ニ、代ッテ財產ヲ管理運用スルコトヲ云フコトヲ使命ト致シテ居ルモノデアリマシテ、隨テ一面ニ於テハ、社會ニ靜止シテ居ル所ノ隱レタ所ノ私財ヲ、國民經濟ノ上ニ働カセルヤウナ風ノ機能ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、將來我國ニ於キマシテモ、相當ニ發達シテ行ク所ノモノグラウト思フノデアリマス、是ガ十分ニ健全ナル發達ヲ致スコトヲ云フコトハ、又國民經濟ノ上カラ見テ、結構ナル事デアラウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シ現在ニ於キマスル所ノ信託業者ノ狀況ヲ見マスルト云フ、是ハ前ニ申シタ通り、大藏省ハ今日ニ於テ殆ド監督權ヲ持ッテ居ラナイノデアリマスカラ、隨テ内容ニ違ハテ詳細ナル調査ヲ致スコトガ出來ナイ爲ニ、十分ナル事實ヲ擧ゲテ、一々申上ゲル事ハ出來ナイノデアリマス、ケレドモ、斯ノ如ク前ニ申シマスル通り非常ナ多數ニ上リ、又資本ノ大ナルモノモ出來テ來タノデアリマスケレドモ、全體ヲ通ジテ其實況ヲ見マスルコト云フ、必シモ信託業ト云フモノノ本來ノ使命ヲ完ウシテ、其機能ヲ發揮シテ居ルモノト稱スルコトガ出來ナイモノガ、非常ニ多イヤウニ見エノデアリマス、又資產ノ狀況カラ見マシテモ、極メテ不健全不安固デアリマシテ、一般ノ信用ヲ置イテ、十分ニ働キラシテ行クコト云フコトハ出來ナイヤウニ考ヘルモノモ多クアルノデアリマス、或ハ此信託ト云フ美名ノ下ニ資產ヲ集メマシテ、或ハ背任トカ横領トカ云フヤウナ罪ヲ犯シ、或ハ是等ヲ不健全ナル事業ニ費消スルコト云フヤウナコトヲシテ、禍ヲ委託シタ所ノ無智ノ人民ニ及スト云フヤウナコトヲ往々見ルノデアリマス、中ニハ屢々會社ノ名ヲ變ヘテ、或ハ居所ヲ屢々轉ジテ、サウシテ委託者ニ對スル義務ノ履行ヲ怠ルトト云フ風ノモノモ、非常ニ多イヤウニ見エルノデアリマス、又一方ニハ此信託ト云フ名ノ下ニ銀行ニ類似スル所ノ業務ヲ營ミマシテ、一方ニハ銀行ハ金融機關トシテ、御承知ノ通り監督ヲ受ケテ居ルニ拘ラズ、信託ノ名ノ下ニ之ニ類似ノ仕事ヲ行ッテ、何等ノ監督ガ無イト云フ風ナ狀況ニアラノデアリマス、サウ云フ風ナ狀況デアリマシテ、此儘デ進ミマシタナラバ、或ハ不測ノ損害ヲ是等委託者、或ハ十分ニ

ソレ等ヲ理解スルコトノ出来ナイ委託者ニ及スト云フコト
ガアツテハ、是ハ恐ルベキ結果ヲ来シハシナイカト云フコト
ヲ考ヘタルデアリマス、是等ハ一方ニハ信託ト云フモノニ
付キマシテハ、其本質ヲ明ニスル所ノ規定ヲ缺イテ居ル、是
等ニ關シマスル所ノ權利義務ノ關係ガ明確ニナツテ居ナイ
ト云フコトモ、一ツノ缺陷デアラウト思ヒマス、又之ヲ業ト
シテ居ル者ニ對シテ、其經營上準據スベキ法則ガ無い、之ニ
對スル所ノ十分ナ監督ノ途ガ立ッテ居ラヌト云フコトハ、非
常ナ缺陷デアラウト思フ、今日既ニ興業銀行、臺灣銀行等ニ
於テモ、信託ノ字ハ用キテ居リマスガ、是ハ未ダ明確ナル觀
念ハ無いデアリマス、ソレデアリマスカラ、他ノモノハ實
ハ信託ト申スコトガ出来ナイヤウナモノガ、信託ト云フ風
ナ觀念ノ下ニ、信託業ヲ營ンデ居ルト云フ風ナ事ガアルノ
デアリマス、ソレ故ニドウシテモ今日ノ狀況カラ見マシテ、
之ガ健全ナ發達ヲ期シマス上ニ於キマシテハ、ドウシテモ
根本ノ權利義務ノ觀念ヲ明ニ致シマシテ、信託ト云フ觀念
ヲ明ニスルト同時ニ、一方ニハ之ヲ營ンデ居リマス業者ニ
對シテ相當ニ監督ヲ加ヘ、必要ナル監督ヲ加ヘ、又營業ヲ營
ンデ行ク上ニ、其嚮フ所ヲ示スト云フ事ガ必要デ目下ノ最
モ急務デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレデ、一方ニハ司
法次官ヨリモ御説明モアリマシテ通り信託法ノ案ヲ提出サ
レ、ソレニ依ッテ信託ノ本質ヲ明ニシマス同時ニ、之ガ業
トスル者ニ對シテ信託業法ヲ制定致シマシテ、サウシテ其
在ル所ヲ明ニシ、必要ナル監督ヲ加ヘタイト思フ、ソレデ此信
託業法ニ付キマシテ規定ヲ致シマシタル主ナル點ハ、質問ニ應
ジマシテ、十分ニ申上ゲタイト思フノデアリマス、先ヅ大體
主ナル點ニ付テ申述ベテ見タイト思フ、第一ニ此信託業ハ、他
ノ銀行業ト同ジヤウニ免許ノ主義ヲ採ッタルデアリマス、是
ハ亞米利加等ニ於キマシテモ、矢張免許主義ヲ採ッテ居ルヤ
ウニ承知シテ居ルノデアリマス、次ニ信託ヲ營ミマス者ハ
株式會社ニ限ッタルデアリマス、今日營業致シテ居ル者ハ個
人モアリマス、合名會社モ、合資會社モアリマスガ、今日ニ
於キマシテハ其大多數ハ株式會社デアリマスガ、ドウシテモ其財
產ノ狀態ヲ明確ニシ、又各種ノ株式總會デアルトカ、監督役
デアルトカ、會社自體ニ監督機關モアリ、又其等ノ營業ノ報
告ヲ公表スル各種ノ點カラ見マシテ、株式會社ガ最も適當
デアルト云フ考カラ致シマシテ、株式會社ニ限ッタルデアリ
マス、昨年御協賛ヲ願ヒマシタ貯蓄銀行モ株式會社ニ限ッ
テ居ル、ソレカラ信託會社ガ引受ケマスル所ノ、信託ノ目的ト
ナリマスル所ノモノニ付キマシテ、或ル種ノ制限ヲ置イタ
ノデアリマス、是ハ第四條ニ規定シテ居ルノデアリマス、是
ハ信託法カラ見マス云フト、各種ノ財產ガ此信託ノ目的

ニナルヤウニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ營業ト致シマス
ル上ニ於キマシテハ、色々ノ取締ノ上カラ見マシテモ、亦事
業者ガ營業トシテ經營致シテ居ル上カラ見マシテモ、最も
安全ニ確實ニ保管運用ガ出來ル所ノモノニ限リマシテ、
此信託業ハ各種ノ危險ヲ伴フモノデアアル爲ニ、或ハ損失ヲ
及ストカ、或ハ取締ノ上ニ於テ非常ニ複雑ナ關係ヲ生ジテ、
取締ガ出來ナイト云フコトノ無イヤウニ致シタルデアリマ
ス、ソレカラ信託會社ガ此信託ノ引受ケマスル所ト云フ事ハ、其
本來ノ業務デアリマス、固有ノ業務デアリマスルガ、併シ今
日ノ此信託會社ノ營ンデ居ル所ノモノハ、非常ニ複雑デア
リマシテ、色々ナ仕事ガアルノデアリマス、併シ是等ハ信託
ノ觀念ヲ明ニ致シマスレバ、之ヲ信託ト申ス事ノ出來ナイ
モノガ非常ニ多イデアアルカラ、先ヅ信託會社ノ營ムコト
ハ、其本來ノ信託ト云フコトヲ本據ト致シマス、ソレニ伴ヒ
マシテ、即チ其固有ノ業務ニ伴ヒマシテ、所謂信任ニ基ク
信託ハ他人ノ信任ニ基キテ業務ヲ執ルモノデアリマスカラ、
其信託ニ基ク所ノ大體ノ業務デアリマシテ、サウシテ會社
ノ基礎ニ危險ヲ及スコトナク、又此信託會社ノ管理シタル財
產ノ上ニ危險ヲ及スコトナク、又此信託會社ノ管理シタル財
產ノ業務ヲ營ムコトヲ認メタルデアリマス、尙ホ詳細ノ事ニ
付キマシテハ、又色々御尋ニ依ッテ申述タイト思フノデアリ
マス、唯此中ノ五條デアリマスルガ、五條ノ中ノ保證ニ命令
ヲ以テ制限ヲ設ケタル云フ事ヲ規定シテ居リマスガ、是ハ
債務ノ保證ニ付キマシテハ、隨分今日ノ業者ノ中ニハ、自己
ノ資力ヲ顧ミズ無暗ニ募集ヲ致シ、爲ニ終ニハ其保證ノ義
務ヲ盡ス事ガ出來ナイト云フ風ナ事モ隨分起ルノデアリマ
ス、是等ノ募集ニ付キマシテハ、相當ノ限度ヲ設ケテ命令ヲ
以テ諸般ノ制限ヲ設ケタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ尙ホ信託會社ハ、信託會社ノ信託法ノ規定ガ
アリマスル通り、信託ノ安全ヲ圖リ十分ノ注意ヲ以テ信託會
社ヲ管理シテ行カナケレバナラヌノデアリマスガ、之ニ反シ
テ受託者ニ損害ヲ與ヘタ時ハ、其損害ノ擔保トシテ資本金ノ
十分ノ一ノ金額ニ相當スル公債ヲ供託致サナケレバナラヌ、
之ニ對シテ受託者ハ他ノ債權者ニ先ヅテ辨濟ヲ受ケルト云
フ擔保ノ提供ノ義務ヲ命ジタルデアリマス、ソレカラ信託
會社ハ今日ノ趨勢ヲ見スマスト資金ノ信託、或ハ第四條ノ金錢
ノ信託、金錢ノ信託ヲ受ケルト云フ仕事ハ漸次多クナツテ來
ル様デアリマス、此場合ニ於キマシテ、運用方法ヲ確定シテ
置ク、此金ヲ以テ或ハ取引所ノ株ヲ買ッテ運用シテ居ル場
合ニ於キマシテハ、其特定ノ方法ニ依ッテ會社ガ運用ヲ致シ
マシタ場合ニ於テ損失ヲ來シク、是ハ已ムヲ得ナイ事デア
リマス、是ハ受託者ガ負擔スルト云フコトガ當然ナノデア

リマス、ソレガ即チ信託ノ本旨ニ副フモノデアリマスカラ、
其場合ハ仕方ガナイノデアリマスガ、特定シテ居ラナイ
郵船株取引所株ノ特定ヲシテ居ラヌ場合ニ於キマシテ
運用ヲ致シタルニ元本ニ損失ヲ來シク、或ハ一定ノ利益、運
用ニ依ル利益ヲ得ナカッタ場合ニ於テ、豫メ信託法ニ於キマ
シテ、或ル程度マデ例ヘバ三分ナラバ三分、三分五厘ナラバ
三分五厘ト云フ利子ダケハ保證スルト云フ事ノ、最低ノ利
子ヲ定メルト云フ事ヲ認メタルデアリマス、之ニ就キマシ
テモ、命令ノ定ムル所ニ依ルトシテ置キマシテ、運用ノ仕方
ハドウ云フモノデアアルカ、ソレカラ又一定ノ額ノ保證ト云
フモノニ付キマシテモ、或ル歩合ヲ制限シタイト思フ、即チ
ソレノ最高ヲ制限シタイト思フノデアリマス、各種ノ制
限ヲ設ケタイト思フデ居リマス、ソレハ即チ信託ノ本旨ニ反
シナイコトノ爲ニ制限ヲ置クノデアリマス、信託ノ本旨ニ
合フヤウニ制限ヲ設ケタイト思フノデアリマス、ソレカラ
第十條ハ、是ハ信託法ノ原則ニ對シテ例外ヲ規定シタルノデ
アリマシテ、先程次官カラノ御説明ノ中ニアリマシタヤウ
ニ、信託受託者ノ信託財產ヲ固有財產ニ混同スルコトガ出
來スト云フ制限ガ設ケテアリマスレドモ、但シ裁判所ノ
許可ヲ得タル場合ハ宜シト云フコトニナツテ居タルデアリ
マス、信託業者ニ於キマシテハ金錢信託ノ場合ニ於キマシ
テ、之ヲ運用ニ依ッテ其義務ヲ履行シマス時ニ於テ、自己ノ
財產ノ少イ云フ事ニナリマスレバ、有價證券ヲ市場ニ賣出
シテ、金ニ換ヘテ拂ハナケレバナラヌ、之ガ若シ取引所ノ相
場ガアリマスモノデアリマシタルナラバ、其相場ニ依ッテ必シモ
弊害ヲ生ズル事モナク、又無益ノ手續ヲ掛ケル事ガナイノ
デアリマス、其場合ニ限ッテ固有財產ニスル事ガ出來ル規定
ヲ設ケタルデアリマス、是モ相當ナ規定ヲ設ケマシテ、信託
ノ本旨ニ反スル事ガ無い様ニ致シタイト考ヘテ居リマス、次
ニ此信託會社ノ營業上ノ資金ノ運用ニ付テ制限ヲ設ケタル
デアリマス、ソレハ信託會社ノ營業上ノ資金ト申シマス、即
チ信託會社ノ資本、積立金等ノモノハ、是ハ受託者ニ對スル
所ノ擔保ニナルベキ性質ヲ持ッテ居ルノデアリマス、一方ニ
ハ資本ノ或ル一部分ヲ供託ヲ致シテ居リマスガ、信託ノ財產
ノ管理運用ノ際ニ於キマシテ違算ヲ生ズル、其爲ニ賠償ヲ
シナケレバナラヌ時ハ、此資金ハ擔保ノ働キマスルノデア
リマスカラ、是等ノ資金ハ成ベク之ヲ失フコトガナイヤウ
ニ、安全ニサウシテ成ベク有利ニ、而モ確實ヲ失フコトガナ
ヤウニ、運用ノ必要ガアルノデアリマス、是ハ丁度貯蓄銀行
等ニ於キマシテモ、資金ヲ運用ニ於テ制限ヲ受ケマスノト
大體同ジデアリマスガ、貯蓄銀行ノ資金ノ運用ハ預金共物
ガ資金ニ入ッテ居タルノデアリマス、信託會社ハ別個ニ整理
サレテ居リマスカラ、擔保ノ働キマスルニ止マルノデアリ

マスカラ、貯蓄銀行ヨリハ稍々寛ナ運用ノ範圍ヲ認メテ居ルノデアリマス、ソレカラ信託會社ガ信託財産ヲ處理スル上ニ於キマシテハ、各別ニ計算ヲ明ニシマシテ、今日自分ノ信託ハドウ云フ風ニナリテ居ルカト云フ事ハ、何時タリトモ明瞭ニ分ルキウニ整理ヲ致ス積リデアリマス、是等ノ事ハ業務ノ保障、帳簿書類ヲ能ク備ヘテ致サセル積リデ居ルノデアリマス、ソレカラ次ニ信託法ニ於キマシテハ、個人ノ死亡、或ハ會社ノ解散ノ場合ニ於キマシテハ、信託ハ終了スルモノデアルト云フ事ハ、先程司法次官ノ説明モアリマシタ通りデアリマスガ、信託會社ニ付キマシテハ、信託會社ガ合併ヲ致シマシタ場合ニ於テ、當然之ヲ消滅サセルト云フ事ハ、各種ノ不便ガアルノデアリマス、ソレ故ニ例外ノ規定ヲ設ケマシテ、會社ガ合併ニ依ッテ信託會社ノ消滅シマシタ場合ニ於テハ、其存續スル所ノ、此合併ニ依リテ設立サレマシタ會社ガ、權利義務ヲ承繼スル規定ヲ設ケタ、但シ受益者ガ異議ヲ申シマシタラバ、原則ニ立返リマシテ信託ヲ終了サセルコトニナルノデアリマス、ソレカラ信託會社ニ對シマシテ、監督上業務ノ報告ヲサセル、狀況ノ檢査ヲスル、或ハ場合ニ依リマシテハ、業務ノ種類、方法、業務ヲ變更スル、或ハ停止ヲ命令スル、或ハ法令定款若クハ主務大臣ノ命令ニ反シ、又ハ公益ヲ害スルモノハ業務ノ停止ヲスル、重役ノ解任ヲ命ズル、進ンデハ營業ノ免許ヲ取消スコトハ、現行法ニアリマス通りデアリマス、大體ノ規定ノ主ナル點ハ以上述べタ通りデアリマスガ、今日アリマス信託業者ニ對シテ如何ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、今日アリマス所ノ信託會社ガ、此法律ガ制定ニナリマシテ、施行サレマシタ曉ニ、引續イテ信託業務ヲ經營シテ行カウト思ヒマス場合ニ於テハ、施行後六箇月以內ニ免許ヲ申請ヲスル、此場合ニ信託株式會社ニ付キマシテハ、直チニ資本ノ増加ヲサセテ百萬圓ニサセルコトハ、困難ナ事情ガアラウト思ヒマス、五年間ハ二十五萬圓以上ノ資本ヲ持ッテ居レバ宜シイト云フ規定ヲ置イタデアリマス、尙ホ本法施行ノ後業務ヲ止メテ、本法ニ依ッテ免許ヲ受ケナイ者ハ、既ニ引受ケテ居ル所ノ信託ノ終了スルマデハ、是ハ勿論業務ヲ營ムコトハ、出來マセヌガ、終了スルマデノ仕事ガ出來ルト云フコトハ、貯蓄銀行ト同ジデアリマス、大要以上申述べタ通りデアリマスガ、此法ハ決シテ現在ノ信託業者ヲ取締リ、其業務ヲ束縛シテ行カウト云フノ目的デハ決シテ無イデアリマシテ、信託業務ノ健全ナル發達ヲ期シ、信託ヲ致シマスル者モ其權利義務ノ關係ガ明ニナリ、又ソレヲ受託シテ居ル所ノ信託會社モ、相當ニ十分ナル監督ヲ受ケルコトニナリマシテ、進ンデ安心ヲシテ自己ノ財産ヲ委託スルト云フコトニモナルノデアリマスカラ、取締ヲ致シマススト云フコト

ハ、畢竟會社ノ健全ナル發達ヲ期シ、信託ノ本來ノ目的ヲ十分ニ達シテ、其機能ヲ發揮サセルト云フコトニナルコト、考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ詳細ノ點ニ付キマシテハ、申述べタル點モ多クアルノデアリマスガ御尋ニ依リマシテ御説明ヲ申上ゲ、又ハ適當ナル時期ニ進ンデ御説明ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス

○指田委員長 此後トノ二件ハ、關聯シタ手續、其他ニ關スル法案デアリマスルカラシテ、是ハ別段御質問ノアルマデハ説明ハシテ貰ハヌデモ宜シカラウト考ヘマス、信託法ト信託業法トニ付テ、此際何カ御質問ノ點ガアリマシタラ……

○指田委員長 今序ニ説明シテ置キマセウ

○白井委員 此信託業法ニ對シテ簡單ニ二三質問シタイト思ヒマス、第一ニ昨年新ニ改正サレマシタ貯蓄銀行法ニ依ッテ營業シテ居ル貯蓄銀行業者ガ、其預金者並ニ株主ノレカラ一般社會カラ負フ所ノ義務——任務ト申シマス、其義務ト、本案ノ信託ニ依ッテ信託業務ヲ營ミマスル者ガ、依託者若クハ受益者並ニ株主、又ハ一般ノ經濟世界ニ負フ所ノ義務、此兩者ノ義務、任務ニ對スル輕重ハ如何デアルカ、何方ノ方ガ重イガ、勿論業態ガ違ッテ居ルノデアリマスカラ——併シ大體ニ於ケル其義務ノ輕重ニ對シテ御尋ヲ致タイト思ヒマス

○黒田政府委員 信託業法ニ於キマシテハ、所謂普通ト申シマス、一般ニ信託ヲ業トシテ營ム者ニ付テ規定ヲ致シテ居ルノデアリマス、今日御承知ノ通り、擔保附社債信託法ガアリマシテ、擔保附社債ノ信託ニ付キマシテハ、既ニ根本ノ規定、並ニ之ヲ營業トシテ居リマスル者ニ對スル、規定モ設ケラレテ居ルモノデアリマス、是ハ別個ニ今日以後ニ於キマシテモ存續スルモノデアリマス、一般ノ信託法並ニ信託業法ニ對シテハ、或ハ特別ノ法ノ一ニナルモノデハナカラウトカト思フノデアリマス、信託業法ニ於キマシテハ、擔保附社債信託ヲ營ムント致シマスレバ、勿論是ハ營ムコトヲ許スノデアリマス、即チ「信託會社ハ擔保附社債信託法ニ依リ擔保附社債ニ關スル信託業務ヲ營ム事ヲ得」ト云フ規定ヲ設ケテ居リマス、勿論擔保附社債信託法ノ規定ニ依リマシテ、更ニ免許ヲ受ケテ之ヲ營ムコトガ出來ルノデアリマス、又擔保附社債信託法ニ於キマシテハ、擔保附社債信託ヲ營ミマスル者ハ、他ノ業務ノ經營ハ出來ナイノデアリマス、唯銀行業タケハ之ヲ經營スルコトヲ認メテ居ルノデアリマス、所ガ信託業法ニ於キマシテハ、擔保附社債信託ヲ營ム事ハ認メマスルガ他ノ業務ヲ經營スルト云フコトハ之ヲ許サナイコトニ致シテ居ルノデアリマス、即チ具體的ニ申シマスレバ、銀行業モ經營スル事ハ認メテ居ラスノデアリマス、ソレ故ニ此擔保附社債信託法ニ依リ、信託會社ガ信託業務ヲ經營シタイト云フ場合ニ於キマシテ現行ノ儘デアリマスレバ、信託會社ハ銀行業ヲ兼テ居レバ、信託業務ヲ經營スルコトガ出來ナイト云フ結果ニナリマスルカラシテ、擔保附社債信託法ニ改正ヲ加ヘマシテ、但シ銀行業ヲ經營シテ居ラナイ株式會社ニアリマシテハ、信託業法ニ依ッテ信託業務ヲ營ムコトガ出來ルト云フコトニ致シタノデアリマス、擔保附社債信託會社デ銀行業ヲ兼テ居ルモノハ、信託業法ニ依リ信託ヲ營ムコトハ出來ナイノデアリマスルガ、銀

行ヲ兼テ居ラナイモノハ、擔保附社債信託法ニ依ッテ、信託業務ヲ兼營スルコトガ出來ルト云フコトニ改正シヤウト云フノデアリマス、御參考マデニ申上ゲマスルガ、今日擔保附社債信託法ニ依ッテ擔保附社債信託ノ業ヲ營ンデ居ルモノハ、總テ銀行ガ兼テ居ルノデアリマシテ、其以外ハ無イノデアリマス

○指田委員長 此後トノ二件ハ、關聯シタ手續、其他ニ關スル法案デアリマスルカラシテ、是ハ別段御質問ノアルマデハ説明ハシテ貰ハヌデモ宜シカラウト考ヘマス、信託法ト信託業法トニ付テ、此際何カ御質問ノ點ガアリマシタラ……

○白井委員 此信託業法ニ對シテ簡單ニ二三質問シタイト思ヒマス、第一ニ昨年新ニ改正サレマシタ貯蓄銀行法ニ依ッテ營業シテ居ル貯蓄銀行業者ガ、其預金者並ニ株主ノレカラ一般社會カラ負フ所ノ義務——任務ト申シマス、其義務ト、本案ノ信託ニ依ッテ信託業務ヲ營ミマスル者ガ、依託者若クハ受益者並ニ株主、又ハ一般ノ經濟世界ニ負フ所ノ義務、此兩者ノ義務、任務ニ對スル輕重ハ如何デアルカ、何方ノ方ガ重イガ、勿論業態ガ違ッテ居ルノデアリマスカラ——併シ大體ニ於ケル其義務ノ輕重ニ對シテ御尋ヲ致タイト思ヒマス

○黒田政府委員 一寸御尋ノ點ガハ、キリ致サナイノデアリマス、義務ノ輕重ト申シマススト云フコト、此法規ノ上デ命ジテ居リマスル所ノモノデ無クシテ、銀行——貯蓄銀行業者、又ハ信託業者トカガ、委託者若クハ預金者ニ對スル所ノ責任ノ輕重ト云フ意味ト了解致シマスルガ、サウデゴザイマス

○白井委員 法規許リデハナイ、總テニ對スル義務デアリマス

○黒田政府委員 先ヅ第一ニ此貯蓄銀行ノ利益ノ方カラ云フト、貯蓄ノ預金者、或ハ信託會社ニ於テノ委託者ト云フ者ニ付テ、委託者若クハ受益者ニ依ッテ比較シテ見マスルト、元來此信託會社ト銀行トハ非常ニ性質ガ違ッテ居ルト考ヘテ居リマス、銀行デアリマスレバ、所謂預金ト云フモノタケデアリマシテ、銀行ハ此金ヲ必ズシモ運用スルト云フ義務ヲ當然負ウテ居ナイノデアリマス、銀行自ラガ自己ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用シテ、ソレヨリ生ズル銀行ハ一定ノ利子ヲ預金者ニ拂ッテ、後トハ銀行ノ所得ニスルノデ、銀行ハ成ルベク有利ニ運用スル様ニ注意ハ致シマスガ、銀行自體ガ預金者ニ之ヲ運用スルト云フ直接ノ義務ハ負ウテ居ナイノデアリマスカラ、之ヲ供託シテ置キマシテモ一向差支ナイノデアリマスガ、信託ニ付キマシテハ、受益者ニ對シテ信託會社ハ、之ヲ善良ナル管理者トシテ運用スル義務ハ、當然負擔シテ居リマス、ソシテ徒ニ打棄テ置クト云フ事ハ、義務ノ違反ニナルノデアリマシテ、十分ニ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ、出來ルタケ運用スル義務ヲ負擔シテ居ルカラ、銀行ト非常ニ違フト思ヒマス、其結果預金ト異リマシテ、其運用カラ生ジタ所ノ利益ハ、原則トシテ其金ハ之ヲ受益者ニ渡スカ、若クハ信

○指田委員長 此後トノ二件ハ、關聯シタ手續、其他ニ關スル法案デアリマスルカラシテ、是ハ別段御質問ノアルマデハ説明ハシテ貰ハヌデモ宜シカラウト考ヘマス、信託法ト信託業法トニ付テ、此際何カ御質問ノ點ガアリマシタラ……

○白井委員 此信託業法ニ對シテ簡單ニ二三質問シタイト思ヒマス、第一ニ昨年新ニ改正サレマシタ貯蓄銀行法ニ依ッテ營業シテ居ル貯蓄銀行業者ガ、其預金者並ニ株主ノレカラ一般社會カラ負フ所ノ義務——任務ト申シマス、其義務ト、本案ノ信託ニ依ッテ信託業務ヲ營ミマスル者ガ、依託者若クハ受益者並ニ株主、又ハ一般ノ經濟世界ニ負フ所ノ義務、此兩者ノ義務、任務ニ對スル輕重ハ如何デアルカ、何方ノ方ガ重イガ、勿論業態ガ違ッテ居ルノデアリマスカラ——併シ大體ニ於ケル其義務ノ輕重ニ對シテ御尋ヲ致タイト思ヒマス

○黒田政府委員 一寸御尋ノ點ガハ、キリ致サナイノデアリマス、義務ノ輕重ト申シマススト云フコト、此法規ノ上デ命ジテ居リマスル所ノモノデ無クシテ、銀行——貯蓄銀行業者、又ハ信託業者トカガ、委託者若クハ預金者ニ對スル所ノ責任ノ輕重ト云フ意味ト了解致シマスルガ、サウデゴザイマス

○白井委員 法規許リデハナイ、總テニ對スル義務デアリマス

○黒田政府委員 先ヅ第一ニ此貯蓄銀行ノ利益ノ方カラ云フト、貯蓄ノ預金者、或ハ信託會社ニ於テノ委託者ト云フ者ニ付テ、委託者若クハ受益者ニ依ッテ比較シテ見マスルト、元來此信託會社ト銀行トハ非常ニ性質ガ違ッテ居ルト考ヘテ居リマス、銀行デアリマスレバ、所謂預金ト云フモノタケデアリマシテ、銀行ハ此金ヲ必ズシモ運用スルト云フ義務ヲ當然負ウテ居ナイノデアリマス、銀行自ラガ自己ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用シテ、ソレヨリ生ズル銀行ハ一定ノ利子ヲ預金者ニ拂ッテ、後トハ銀行ノ所得ニスルノデ、銀行ハ成ルベク有利ニ運用スル様ニ注意ハ致シマスガ、銀行自體ガ預金者ニ之ヲ運用スルト云フ直接ノ義務ハ負ウテ居ナイノデアリマスカラ、之ヲ供託シテ置キマシテモ一向差支ナイノデアリマスガ、信託ニ付キマシテハ、受益者ニ對シテ信託會社ハ、之ヲ善良ナル管理者トシテ運用スル義務ハ、當然負擔シテ居リマス、ソシテ徒ニ打棄テ置クト云フ事ハ、義務ノ違反ニナルノデアリマシテ、十分ニ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ、出來ルタケ運用スル義務ヲ負擔シテ居ルカラ、銀行ト非常ニ違フト思ヒマス、其結果預金ト異リマシテ、其運用カラ生ジタ所ノ利益ハ、原則トシテ其金ハ之ヲ受益者ニ渡スカ、若クハ信

○白井委員 法規許リデハナイ、總テニ對スル義務デアリマス

○黒田政府委員 先ヅ第一ニ此貯蓄銀行ノ利益ノ方カラ云フト、貯蓄ノ預金者、或ハ信託會社ニ於テノ委託者ト云フ者ニ付テ、委託者若クハ受益者ニ依ッテ比較シテ見マスルト、元來此信託會社ト銀行トハ非常ニ性質ガ違ッテ居ルト考ヘテ居リマス、銀行デアリマスレバ、所謂預金ト云フモノタケデアリマシテ、銀行ハ此金ヲ必ズシモ運用スルト云フ義務ヲ當然負ウテ居ナイノデアリマス、銀行自ラガ自己ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用シテ、ソレヨリ生ズル銀行ハ一定ノ利子ヲ預金者ニ拂ッテ、後トハ銀行ノ所得ニスルノデ、銀行ハ成ルベク有利ニ運用スル様ニ注意ハ致シマスガ、銀行自體ガ預金者ニ之ヲ運用スルト云フ直接ノ義務ハ負ウテ居ナイノデアリマスカラ、之ヲ供託シテ置キマシテモ一向差支ナイノデアリマスガ、信託ニ付キマシテハ、受益者ニ對シテ信託會社ハ、之ヲ善良ナル管理者トシテ運用スル義務ハ、當然負擔シテ居リマス、ソシテ徒ニ打棄テ置クト云フ事ハ、義務ノ違反ニナルノデアリマシテ、十分ニ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ、出來ルタケ運用スル義務ヲ負擔シテ居ルカラ、銀行ト非常ニ違フト思ヒマス、其結果預金ト異リマシテ、其運用カラ生ジタ所ノ利益ハ、原則トシテ其金ハ之ヲ受益者ニ渡スカ、若クハ信

○白井委員 法規許リデハナイ、總テニ對スル義務デアリマス

託財産ノ中ニ入レテ、サウシテ會社ヲ運用ヲ致シマシタ報
酬トシテ、此手數料ヲ取ルト云フコトニナルノデアリマス、
ソレ等ノ點ハ銀行ト非常ニ違フテ居ルノデアリマスガ、株主
ナドニ對シマシテハ、是ハ信託會社モ銀行モ同ジデアラウ
ト思フ、ソレカラ重役ノ責任、即チ信託業務ヲ營ム者、又ハ
銀行ノ業務ヲ營ム上ニ於テ、重役ノ責任ニ付キマシテハ、貯
蓄銀行ハ御承知ノ通り、重役ハ無限ノ責任ヲ負フ、信託會社
ニ於キマシテモ、其事務ニ關與シタ所ノ理事者ハ、連帶シテ
無限ノ責任ヲ帶ビルト云フコトガ、信託法ノ中ニ規定シテ
アリマス

○白井委員 次ハ此十一條ノ事デアリマスガ「公債社債又
ハ株式ノ應募引受又ハ買入」之ニハ何等ノ制限モナイノデ
アリマスガ、是デハ會社自身ガ何デモ好ム所ノ公債、社債、
株式ヲ勝手ニ買テモ差支ナイコトニナルガラウト思ヒマ
ス、ソレデハ甚ダ資金ノ運用上、多少ノ不安ノ點ガアルヤウ
ニ考ヘマスガ如何デス、モウ一ツハ第五銀行ヘノ預ケ金又
ハ郵便貯金ニ對スル、範圍ニ對スル制限モ無イヤウデアリ
マスガ、制限ノ無イモノト致シテ見マスル、多數ノ金錢ヲ
總テ銀行ヘ預ケテモ差支ナイト云フ結果ニナリマスガ、是
ヨリ生ズル弊害モ決シテ少クナイヤウニ考ヘマスガ、是等
ノ點ニ對スル御考ヲ伺ヒマス

○黒田政府委員 此營業上ノ資金ハ、之ヲ貯蓄銀行ト比較
スル、貯蓄銀行ノ方ノ資金ハ、即チ此預金ト云フ零細ナル
金ガ集テ貯蓄銀行ノ預金トナッテ、即チ是ガ營業資金ニナ
テ居ルノデアリマス、所ガ信託會社ニ於ケル營業上ノ資金
ト申シマスルノハ、信託財産デアリマス、金錢デアリマシ
テモ、何デアリマシテモ、信託會社ノ營業上ノ資金ト認メル
デアリマス、信託會社ハ金デモ、有價證券デモ、何デモ別箇
ニソレ／＼運用整理ラシテ行クノデアリマス、此營業上ノ
資金ト申シマスルノハ、信託財産ヨリマル別個ノ、所謂相
互ノ固有財産ノミニナリマス、ソレ故ニ此貯蓄銀行ノ如キ
ニ於キマシテハ、此資金ヲ預金者ガ拂込シタ結果、預金其モ
ノ運用デアリマス、ソレ故ニ之ニ對シテハ、先程述べマシ
タヤウニ嚴重ノ制限ヲ設ケタノデアリマス、然ルニ信託會
社ノ場合ニ於キマシテハ、信託財産ハ別個ニ存在シテ居
リマスカラ、確實ニ運用スル上ニ於テハ別ニ損失ハ來サナ
イノデアリマス、此資金ハ所謂擔保ノ效力ノ一端トシテ、信
託財産ニ損失ヲ與ヘタ場合ニ、會社ハ補填ラシナケレバナ
ラヌトキノ所謂擔保ナルベキモノデアリマスカラ、多少
貯蓄銀行ノ資金トハ性質方違フ、ソレ故ニ多少緩クシテア
リマス、御尋ノ通り公債、社債應募引受等ニ付キマシテモ、
貯蓄銀行ヨリハ廣クスルノラ適當ト認メマシテ、之ヲ許ス
コトガ出來ルコトニシテ居リマス、勿論監督上カラ見マシ

テモ、餘リ不確實ナル株ヲ持ツト云フ場合ニ於テハ、是ハ
之ヲ變ヘサセルト云フヤウナ、相當ノ必要ナ手段ハ執リマ
スガ、會社ガ先ヅ自ラ自己ノ資金ノ運轉ヲ期スル爲ニ、確實
ノモノニ投資スルモノト見レバ、之ヲ許スト云フヤウニ、之
ヲ廣ク致シタノデアリマス、銀行ノ預金ニ付キマシテモ同
様デアリマシテ、貯蓄銀行ノ場合ニハ、貯蓄預金ナルモノデ
アリマスカラ、之ヲ一箇所ニ餘リ偏スルコトハ惡イト考ヘ
テ、制限ヲ設ケタノデアリマス、此場合ニ於キマシテハ、單
ニ擔保ノ目的デアリマスルガ、確實ノ銀行デアリマスレバ、
之ニ預ケテモ差支ナカラウ、又ハ貯蓄預金ノ方ハ、餘リ一
箇所ニ拂込ムト云フコトハ、資金ノ積立ガ多クナッテモ、他
ノ有利ノ運用ヲ致サナケレバナラヌモノデ無イノデアリマ
スカラ、是等ハ別ニ制限ヲ設ケナカッタノデアリマス

○白井委員 ソレカラ十二條ノ點デアリマスガ、一般ノ株
主ノ關係ニ對シテハ、此規定ニ依ッテ資本金ノ四分ノ一ニ達
スルマデハ、利益配當ト云フコトハ、丁度十分ノ一マデノ
積立金ヲ爲サナケレバナラヌヤウニナッテ居ルノデアリマ
スガ、此信託會社ニ限リマシテハ大變重イト云フ感ジガアル、資
本金ノ四分ノ一ニナッテ居リマス、積立金ハ一般ニ多クテ二十分
ノ一、或ハ十分ノ一ニナッテ居リマスガ、此信託會社ニ對シ
テハ過グルヤウニ考ヘマスガ、其根據ハ下ウ云フ所ニ
アリマス

○黒田政府委員 是ハ御尋ノ通り商法ヨリハ少シク進ンデ
居リマスガ、此頃ノ各種ノ立法例ニ於キマシテ、斯ウ云フ風
ナ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマシテ、或ハ有價證券販賣業
法第十四條ノ如キ、資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ヲ配當ス
ル毎ニ準備金トシテ其利益ノ十分ノ一以上ヲ積立テシメル
ト云フヤウナ事デ、ソレト同様ノ規定デアリマス、又無盡業
法ニ於テモ、其二十條ニ於テ同一ノ規定ガ設ケテアルノデ
アリマス、此頃ノ立法ハ斯様ニ規定シテ居ルノデアリマス
カラ、ソレニ倣ヒマシテ規定シタニ過ギナイノデアリマス

○白井委員 ソレカラ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ
定ム」トアリマスガ、是ハ政府ノ御見込デハ何時頃カラ施行
ナサレルノデアリマス

○黒田政府委員 幸ニ本期議會ニ於キマシテ本案ガ成立致
シマシタナラバ、先ヅ大體明年即チ大正十二年一月一日カ
ラ施行致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○白井委員 其次「本法施行後五年ヲ限リ第二條ノ規定
ヲ適用セス但シ其ノ資本金ハ二十五萬圓ヲ下ルコトヲ得
ス」トアリマスガ、是ハ五年間ハ矢張元ノ資本金デヤラシテ
置ク方ガ大層宜イヤウニ考ヘマスガ、特ニ二十五萬圓ト云
フ制限ヲ置イタノハ、ドウ云フ理由デアリマス

○黒田政府委員 是ハ原則ト致シマシテ、信託會社ハ百萬

圓以上ノ資本ヲ持ッテ居ル、即チ基礎ノ健全ナルモノデナケ
レバイカスト云フコトニナッテ居リマスガ、唯現在ヤッテ居
ルノヲ直ニ百萬圓ニスルト云フコトハ、困難ナル事情ガア
ルト考ヘマシタノデ、其結果資本金ノ例外ヲ設ケタノデア
リマス、又之ヲ小資本デモ認メルコトニナリマス、甚ダ基
礎ノ不確實ナモノガ、而モ免許ヲ受ケテ營業シテ居ルト云
フコトニナリマス、其爲ニ測ルベカラザル損害ヲ與ヘル
ヤウナ虞モアルノデアリマス、先ヅ大體此二十五萬圓位マ
デ、少クモ持ッテ居ナケレバイカス、又二十五萬圓以上ト
致シマシタ場合ニ於テ、ドレ位ノ會社ガ今日アルカ、株式會
社トシテドウ云フ狀況ニナルカト云フコトニ付キマシテ
ハ、表ヲ拵ヘテアリマスカラ、之ヲ御手許ニ差上ゲタイト思
ヒマス、ソレニ就テ御覽ヲ願ヒマス

○白井委員 從來信託業者ニシテ例ヘバ五萬圓トガ、十萬
圓トガ云フヤウナ小資本デヤッテ居ルモノハ、本法施行法ニ
於テ、引續イテ六箇月以內ニ認可ノ申請ヲシテ、二十五萬圓
ニナレバ宜イイト云フノデアリマス、此二十五萬圓以下ノ資
本金ヲ持ッテ居ル者ハドウナリマス、而シテ此二十
五萬圓以下ノモノハドウナリマス、例ヘバ從來ノ信託業
者デ假リ二十萬圓ノ資本デ營業ラシテ居ル者ガアルト假
定スレバ、之ガ二十五萬圓ニシナケレバナラヌト云フ猶豫
期間ハ下ノ位デアリマス、六箇月デアリマス

○黒田政府委員 免許ノ申請スル迄ニシナケレバナラヌノ
デアリマス

○白井委員 ソレカラ現在ノ信託業者ノ數ヲ御覽シタイ
ト思ヒマスガ、資本金十萬圓以下ノモノハ幾ラ、資本金十萬
圓以上ノモノハ幾ラト云フ風ニ分ケテ、一ツ御示シテ願ヒ
タイ

○黒田政府委員 只今御手許ニ差上ゲマシタ表ハ、二十五
萬圓未滿ト以上ハアリマスガ、實ハ十萬圓以下ト云フモノ
ハ只今拵ヘテアリマセ

○白井委員 分リマシタ

○指田委員長 一寸御相談致シマス、此信託業法デハ第四
條ノ引受財産ノ制限アルトカ、第五條ノ大體業務ノ制限
アルトカ、或ハ十一條ノ資金運用ノ制限アルトカ、是等
ガ一番主要ナ問題デハナイカト思ヒマス、成ベクハ此三
箇條ノ制限ニ關スル質問ヲ十分ニ盡シテ、ソレカラ他ノ事
ニ移タ方ガ混雜シナイヤウニ思ヒマス、第四條、第五
條、第十一條及之ニ關係スル何カ條文ガアリマシタナラバ、
其範圍內デ御質問下サルコトニ願ヒタイト思ヒマス

○納富委員 私ハ大體本法制定ノ御趣旨ニ付テ伺ヒタイノ
デアリマスガ、宜シウゴザイマス

○指田委員長 ソレデヤ宜シウゴザイマス

○納富委員 此信託業法制定ノ動機及目的ニ付テ、大體御意見ヲ承リタイ、只今ノ詳細ナル御説明デ略々了解ハ致シマシタガ、承リマス所デハ從來即チ現在、日本ニ於テ信託業ヲ營ンデ居ル者ニハ多々缺點ガアル、是ガ取締ト云フコトガ甚ダ不十分デアルト云フコトヲ聽イテ居リマス、而モ亦御話ノ通り、從來大藏省ニ於テ之ニ對スル監督權ノ無力ヲ云フコトモ、能ク承知シテ居リマス、ソレカラ考ヘマス、此信託業法ヲ御制定爲スルハ、專ラ亞米利加ノ法律及條項ニ依ッテ御制定ニナッタノデアアルカ、或ハ專ラ内地ノ所謂信託業ヲ行ッテ居ル者ニ就テ、實況ヲ能ク洞察ナスツテ、ソレニ依ッテ御作リニナッタノデアアリマス、即チ簡略ニ申セバ、日本ノ現在ノ信託業ヲ行ッテ居ル者ノ主義主張ノ其聲ヲ十分ニ御取調ニナツテ、サウシテソレヲ土臺トシテ御作リニナッタノデアアリマス、如何デスカト云フコトヲ大體御尋シタイ、實ハ私ハ直接聽イタ譯デハアリマセヌガ、此信託業法制定ニ付テハ、世間ノ當業者ノ聲方色々ヤカマシカッタト云フコトデアリマス、其邊ニ對スル當局者ノ之ヲ制定ナスツト云フ根本ノ精神ヲ御尋シテ置キタイノデアアリマス

○黒田政府委員 此信託業法ヲ制定致シマシタニ付キマシテハ、必シモ亞米利加ノ立法ヲ其儘輸入スルト云フヤウナ考デハ決シテ無イノデアアリマス、亞米利加ノ立法例又實體等モ大ニ參考ニ致シタノデアアリマス、日本ノ現狀ト云フモノニモ十分注意ハ拂ッテ居ル積リデアリマス、又今日信託業者ノ人々カラ、又色々ナ意見ノアル所ハ、十分機會アル毎ニ私自ラモ伺ッテ居リマス、又書面等デモ屢々提出サレテ居ルデアリマス、是等ノ點ニ付テモ十分研究致シテ居ル積リデアリマス、唯、今日我國ニ於ケル此信託會社、信託業者ト稱セラレテ、居ッテ、信託業ヲ營ンデ居ルモノニ對シテハ、信託ノ觀念ヲ定メタル上ニ於テハ、ドウシテモ信託ト見ルコトハ出來ナイ附隨業務ヲ主トシテ營ンデ居ルト云フ風ナモノモ澤山アルヤウデアリマス、中ニハ附隨業務ヲ營ンデ居ッテ、信託業者トシテ居ラレル者モアルヤウニ思ハレル、是等ニ付キマシテハ、附隨業務ヲ營ム場合ニ於キマシテハ、是ハ信託會社ニナラナイ、今日之ヲ制定サレマシタ以後ハ——ソレ故ニソレ等ノ業務ヲ營ム事ハ依然トシテ自由デアリマシテ、決シテ之ニ對シテ束縛ヲ加ヘルノデアアリマセヌ、唯、今日ノ信託業ハ他人ノ財産ヲ自分ノ名義ニ移シテ、サウシテ之ヲ以テ其人ノ利益ニスル爲ニ、ソレヲ運用スルト云フ風ノ者ノミニシテ、ソレニ對シテ必要ヲ取締ラシタイト云フノデアリマス、今日營ンデ居ル此附隨業務ノミヲ營ム者ナラバ、自由ニ出來ルノデアリマス、苟モ信託ヲ營ム上ニ於キマシテハ、ソレ等附隨ノ業務ニ付テモ相當ノ

制限ヲ設ケテ、信託財産ヲ營業トシテ管理運用スル上ニ於テ、弊害ヲ及スコトガナイト云フコトニ付テ、十分注意スル必要ガアラウト考ヘマシタカラ、茲ニ制限ヲ設ケタノデアリマス、又是等ノ制限ハ今日行ハレテ居ル——内地ニ行ハレテ居リマス所ノ主ナ附隨業務ヲ網羅シテ居ルト思フノデアリマス、此中ニ這入ッテ居ラナイモノデモ、信託協會カラノ陳情等ニモアリマス、モノニ付キマシテハ、之ヲ認メルコトガアリマシタ、理由ニ付テハ十分ニ考慮研究致シタノデアリマス、相當廣イ範圍ニ於テ、今日實際ニ行ッテ居ル範圍ニ於テ認メテ居ル今日ノ信託業者ガ、營業案内ニ掲ゲ若クハ定款ニ掲ゲテアリマス業務モ、必シモ全部ヲ行ッテ居ルマセヌ、十分ニ調査ヲ致シマセヌカラ分リマセヌガ、出來得ルダケ調査致シタ所ニ依リマシレバ、定款ニハアリマスガ、實際ニハ營ンデ居ラナイモノガ澤山アルノデアリマス、御手許ニモ業務ノ種類ガ差上ゲテアリマス、ソレニ會社ノ數モ書イデアリマス、其中デ實際營業マナイモノガ定款ニ載ッテ居ルモノガ少クナイノデアリマス、實際ノ狀況ハ調査研究致シタ積リデアリマス

○高柳委員 此信託業法ノ第四條ノ一、金錢、此金錢ノ事デスガ、同一目的ニ依ッテ委託サレタル現品、是ハ一個ノ物ニ綜合シテ之ヲ利用スル、例ヘバ千圓宛十人カラ委託サレタ場合ニ於テ、ソレヲ十人ノ金一萬圓ヲ以テ或ル土地ヲ買入レ、一ツノ土地ヲ買入レラユウナコトハ差支ナイ、其意味デゴザイマセウカ

○山内政府委員 只今ノハ業法ニ付テノ御質問ト承リマシタガ、サウ云フ關係ニ付テハ勿論信託法ノ方デ律スルコトニナルノデアリマス、詰リ數人ノ信託金、之ヲ合シテ一ノ不動產ヲ買ウト云フコトハ出來ルコトニ想像シテ、此場合ニ於キマシテハ、不動產ニ付テノ受益者ノ權利關係ハ、丁度民法ノ共有ノヤウナ意味ニ於テ律スベキモノダト云フ頭デ居ルノデアリマス、其點ニ付テ直接ノ規定ハアリマセヌガ、ソレヲ類推スベキ他ノ規定、即チ信託財産ニ對スル其關係ハドウ云フコトニナルカト云ヘバ、民法ノ共有ノ關係、所有權ニ關スル特別ノ規定ヲ準用スルト云フコトニナツテ居ル、今度其裏カラ持ッテ來テ、勿論數人ノ資金ヲ集メテ一ノ不動產、或ハ一ノ財産ヲ受益者ガ買入レテ、其買入レタモノヲ信託會社ニ移スト云フヤウニナツテ居ルノデアリマス

○高柳委員 ソレデハ第十一條「一、公債、社債又ハ株式ノ應募、引受又ハ買入」ト云フコトガアリマス、第二項「一、不動產又ハ法令ニ依リテ設定シタル財團ヲ抵當トスル貸付」ト云フノガアリマス、是デ見マス、土地ヲ抵當ニシテ金ヲ貸ス事ハ、資金ノ運用上差支ナイマシテ明デアリマシケレドモ「一、公債、社債又ハ株式ノ應募引受又ハ買入」ト云フ

事ガアリマス、此中ニハ土地ノ——不動產ノ買入ヲ認メナイコトニ成ツテ居ルヤウニ見エマス、不動產ヲ抵當ニシテ貸付スルト云フコト、不動產買入ト云フコトハ、其間ニ別ニ大差ガ——確實ナ程度ニ於テ差ガナイト思ヒマス、ドウ云フ譯デ此不動產ヲ買入レテ資金ノ運用ヲスルト云フコトヲ認メナイノデアリマス、ソレヲ伺ヒマス

○黒田政府委員 御尋ノ通り資金ノ運用トシテ不動產ノ買入ハ認メテ居ラナイノデアリマス、此點ハ丁度先程納富サシノ御尋ニゴザイマシタヤウニ、信託業者ノ陳情ノ中ニモ、不動產ノ買入ヲ認メテ與レト云フコトハ出テ居ッタノデアリマス、是ハ認メマセナカッタノデアリマス、其理由ハ、不動產ヲ資金ノ運用トシテ所有スルト云フコトハ、所謂不動產——地代等カラ生ズル所ノ利便デハ、十分ニ其運用ノ目的ヲ達スルモノガ普通無イノデアリマス、恐ラク之ヲ所有スルト云フ目的ハ、土地ノ價格ノ騰貴ト云フコトヲ目的トシテ居ル、今或ル場所ヲ買ッテ置クト云フ、將來ニ於テ其處ノ價格ガ非常ニ騰貴スル、或ハ交通機關ノ變動トカ、或ハ經濟狀況ノ變動ノ爲ニ、價格ガ騰貴スルト云フ、所謂地價ノ騰貴ヲ目的ト致スノガ普通デアルト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ此資金ノ運用トシテハ、左様ナ騰貴ヲ目的トスルト云フヤウナ運用ノ方法ハ、之ヲ認メルコトガ出來ナイト云フ考ヲ持ッテ居ル、ソレナラバ株式等ニ於テモ、價格ノ變動ヲ目的トスル場合ハナイカト云フ御尋モアラウト思ヒマス、株式社債等ニ於キマシテハ、今日相當ナ價格ニ於テ買ッテ置クナラバ、ソレノ配當等ニ於キマシテ、是ガドレダケニ廻ハルト云フ風ナコトデ之ヲ所有スル——ソレカラ生ズル所ノ所得自體カ、此運用ノ目的ヲ達スルノデアリマス、サウ云フ場合ガ非常ニ多イ、サウ云フ目的デ持ッモノガ非常ニ多イノデアリマス、ソレ故ニ偶ニハ尙ホ投機ノ目的ニスルモノモアリマセウ、是ハ經營上カラシテサウ云フコトハ避クベキモノデナカラウガ、其爲ニ實際ノ其運用トシテ持ット云フ場合ヲ止メル事ハ出來ナイノデアリマス、是等ハ認メタノデアリマス、其不動產ノ場合ニ於テハ、ソレハ目的ノ大部分ト云フモノガ騰貴ト申シテ宜シト思ッテ居リマス、之ヲ認メナカッタノデアリマス

○山本委員 一般信託法——信託業法ニ付テ御尋致シタイ、若シ此法案ガ通過致シマシテ施行スルト云フヤウナコトニナリマス、一般銀行營業ニ餘程影響ヲ及シヤシナイカト云フ考ヲ持ッノデアリマス、ソレモ一流、二流ノ銀行ハ兎ニ角、三流、四流ノ銀行ニハ私ハ多大ノ影響壓迫ヲ加ヘヤシナイカト疑フノデアリマス、ソレハ何故カト申シマス、金、金錢ニシテハ有價證券ニシマシテモ、若クハ社債、公債等ニ致シマシテモ、是等ハ今日デハ株券トカ社債ト云

調査ハ出來ナカッタノデアリマス、併シ出來ルダケ、是ハ會社ノ同意ヲ得テ色々内部ノ仕事ヲ調査スル、色々ナ帳簿ノ様式等ヲ見セテ貰ヒ、色々其調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ別ニ纏メテ拵ヘタモノハアリマセヌケレドモ、若シ御必要デアリマスレバ、其事柄ニ付テ調べテ見テ宜イノデアリマス、ソレカラ第二ノ點ニ付キマシテハ、當業者カラ陳情シテ居ル點ニ付テ排斥シ、又ハ採用シタトカ云フ點ハ、ドウ云フ點デアルカ、ドウカト云フ御尋デゴザイマス、之ニ就キマシテハ、當業者ノ陳情ガアリマシタ點ハ、ソレニ付キマシテハ順次御説明ヲ申上ゲテ宜シイ考デアリマス

○吉野委員 前申シマスル從來ノ信託會社ト云フ名稱ノ下ニ營業シテ居リマスモノ、中ニハ、隨分取締ヲ嚴シシナケレバ、經濟界ノ爲ニ宜シクナイト云フモノモ大分アルヤウデアリマス、又之ニ反シテ現在ハ經濟界ノ力デ、或ハ銀行業ナドアリハ營業レナイデ、而モ社會ノ實狀ニ適合シテ居ル仕事モ、信託會社ト下ニ營業レテ居ルヤウデアリマス、其意味ニ於キマシテハ、信託會社はマデヤツテ居リマシタ仕事ヲ、相當助成育成ヲシテ、經濟界ノ爲ニ資スルト云フ必要ガアルノデアリマス、御提案ニナリマシタ法案ヲ一應見マスルガ、監督取締ト云フ方ニハ用意ガ十分ニ行キ渡ッテ居リマスルガ、之ヲ育ッテ行クト云フ方面ニハ、幾ラカマダ不足ノ點ガアリハシナイカト思フノデアリマス、是ハ法案中デ此邊ガ信託業ヲ育成シテ行ク趣意カラ來テ居ルモノデアアルト云フ點ハ、ドウ云フ條項ニ當ルノデアリマセウカ、其點ニ付テ尙ホ詳細ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、

○黒田政府委員 此法案ガ必シモ取締ノミニ重クシテ居ルモノデアリマセヌト云フコトハ前ニモ申シマシタ、然ラバドウ云フ所ヲ助成スル趣意デ規定シテ居ルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ大體ニ於テ信託業法ノミナラズ信託法ト相俟チマシテ、信託ト云フモノノ根本ノ權利義務ノ關係ノ本質ヲ明ニシマシタト云フコトガ、一ツノ今日ノ社會ノ信託業ガ健全ナル發達ガ出來ナイ缺陷ヲ補フ主要ナル點ダラウト思フ、ソレト一方ニハ、相當監督取締ヲ致シマスルト云フコトハ、是ハ前ニモ申上ゲマシタ通り、是カラ信託ヲシヤウト云フモノガ、安心シテ自己ノ懷ニ藏シテ居ルモノヲ持ッテ行クト云フコトガ出來ルノデアリマスカラ、是ハ會社ニ對シテ非常ナル、今後營業シテ行ク上ニ便宜ト信用トヲ得ル點デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレト信託ノ四條ニ於テ制限シテ居ルヤウデアリマスガ、併シ是ノ制限ニ漏レタモノハ如何ナルモノデアアルカト云フコトニ付テ見マスト是ハ極メデ寧ろ範圍ハ狭イモノデアアル、之ニ依ッテ今日營シテ居リマスルモノ、ソレカラ將來發達スベキ信託ハ殆ド其

大部分ヲ網羅シテ居ルモノデアリマス、是ハ詳シク御説明ヲ申上ダレバ御了解ヲ得ルコト、考ヘマス、尙ホ此附帶ノ業務ニ付キマシテモ、相當ニテ廣イ範圍ハ認メテ居ルノデアリマス、是ハ書イテアリマス文字ハ簡單デアリマスガ、之ニ依ッテ營業ミマス業務ノ範圍ハ非常ニ廣イノデアリマス、決シテ信託會社ノ業務ノ範圍ヲ狭ク致シテ居ルノデハナイ積リデアリマスカラ、之ニ依ッテ十分ニ信用ヲ博シ、サウシテ業務ヲシテ行キマスルナラバ、將來十分ニ發達ノ餘地ガアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○指田委員長 一、御尋シタイト思ヒマスガ、先刻納富君カラ御尋ガアッタヤウデアリマス、此信託業法ハ亞米利加邊リデ行ハレテ居ルモノヲ土臺トシテヤラレタノデアリガ、大分歐羅巴ノ方デモ、此信託ト云フモノハ古クカラ發達シテ居ッテ、相當ノ立法例ガアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、何カ今吉野君カラ御尋ガアッタヤウニ、本案ハ取締ノ方ニ重キヲ置カレテ、此金融信託ノ事業ト云フモノ、發達ニ付テ、マダ大分遺憾ノ點ガアルヤウニ考ヘラレルノデ、一ツ外國ノ色々ノ例ナドモ調ベテ見タラドウデアラウカト考ヘルノデアリマスカラ、何カ參考ニナルベキ、サウ云フヤウヤ立法例ナリ、其組立ノ狀態ト云フモノヲ、書類ヲ以テ參考ニ御廻シテ願フコトガ出來レバソレニ就テ御尋シタイト思ヒマス、サウ申シマスルモノハ主トシテ、私ハ斯ウ云フ事ヲ考ヘテ居ル、日本ノ銀行ノ狀態ガ總テ預金銀行デアッテ、サウシテ總テノ商ノ取引ニ付テ、例ヘバ有價證券ニシテモ、正金ニシマシテモ、此銀行トノ金融ノ關係ト云フモノガ滑カニ參ッテ居ラス、其結果此間ノヤウナ財界ニ變動ガアリマス時分ニ、主トシテ銀行ノ金融ガ急激ニ杜絶スルト云フ事カラ、想ハザル波瀾ヲ惹起シテ來ルト云フコトガ多イノデアッテ、今ノ預金銀行タケニ日本ノ經濟上ノ金融ヲ委セテ置クト云フコトタケデハ、完全ナル發達ヲスルコトガムツカシイノデハナイカ、寧ロ此金融信託ノ事業ヲ追々ニ發達セシメテ行クト云フコトデナケレバ、日本ノ經濟組織ノ上ニマダ缺陷ガアルノデハナイカ知ラスト考ヘラレル、其場合ニ此信託業法ヲ御提案ニナッタノデアリマスルカラ、冀クハ私ノ希望トシテハ、サウ云フ意味ガ餘程此法案ノ上ニ加味セラレテ、大ニ發達ヲ助成スルト云フコトニアリタイト希望スル、何カ外國ノ例デモ調ベテ見マシタナラバ、只今ノヤウナ現在ノ取締ヲ一方ニ嚴重ニスルト同時ニ一方ニハ之ヲ發達セシムベキ、モウ少シ適當ナ方法ハナイカト、斯ウ思ッテ居ル、吉野君ニ對スル御答方尙ホ詳細ニ亘ルデアリマセウカ同時ニ外國ノ立法例ナドノ調ベタモノヲ頂戴シタイト考ヘマス

○黑田政府委員 立法例モ調ベタモノハアリマスルガ、非

常ニ多數デ、皆様ノ御手許ニ差上ゲルノハドウカト「思ヒマス、外國ニ於ケル信託會社ノ調ヲシタモノハアルノデアリマス

○指田委員長 御尋シタイト思フノハ、第四條、第五條、第十一條ニ關聯スル其範圍タケデ宜シイノデスカラ、出來ルダケ一ツ願ヒタイ

○黑田政府委員 出來ルダケ努メテ見マス、尙ホ口頭ヲ以テ又御説明モ補ヒタイト思ヒマス

○指田委員長 今日ハ是デ散會シマシテ、明日午前十時カラ引續イテ開キタイト思ヒマス

午後零時四十三分散會